



富山市長 藤井裕久

No.14「スポーツのすすめ」

観るスポーツと自分自身がプレーするスポーツ。スポーツには様々な目的と楽しみがある。最近、健康志向の高まりから、仲間づくりや生きがいづくりを目的としたレクリエーションスポーツや生涯スポーツへの関心も高まっている。

観るスポーツのトピックとしては、先の北京パラリンピッククロスカントリースキークラシカル男子20キロ(立位)で、本市出身の川除大輝選手が力強い走りで見事金メダルに輝き、富山市民のみならず日本中に勇気と大きな感動を与えてくれた。小さなころからクロスカントリースキーに打ち込み、たゆまぬ努力の末勝ち取った快挙を心から祝福し、更なる飛躍に期待したい。

また、県内スポーツチームであるバスケットボールの富山グラウジーズや野球の富山GRNサンダーバーズ、サッカーのカターレ富山などの活躍からも、一年を通して目が離せない。ホームチームの活躍は私たちの誇りでもあり、選手が気迫あふれる最高のパフォーマンスができるよう、大相撲名古屋場所から復帰する朝乃山の活躍も含めて、市民・県民挙げて一体感をもって応援したいものである。

一方、自ら「プレーするスポーツ」であるが、年代や目的によってまさに百人百様である。富山市では、

歩く生活を実践することで健康を増進し、心と身体の余裕や豊かな暮らしを送ることを目的とした「とほ活」を推進している。歩くことで自らの健康寿命を延ばすことはもとより、富山の豊かな自然や四季の移ろいや街の変化を感じ、出会った人々との会話や街中でのイベントを楽しむ。出来れば通勤などの移動も公共交通を利用する。「とほ活アプリ」に登録(現在登録者数は約14,000人)することで、毎日の歩数が確認できるほか、公共交通の利用やイベントでのポイント獲得により抽選で賞品がゲットできる特典も楽しみである。ちなみに自分の目標歩数は一日8,000歩以上である。

また、自分は長い間、スペシャルオリンピックス日本・富山の活動に関わってきた。知的・発達障害があるアスリートがスポーツを通して心身の健全な発達や社会性を身につけることを目的とし、組織運営やスポーツの指導には多くのファミリースタッフやボランティアスタッフが関わってくれている。スポーツには、アスリートの成長を見守りサポートする楽しみや仲間づくりの楽しみもあると実感できるのである。

さて、自分の「プレーするスポーツ」の目標は、トレッキング(山歩き)を始めることであるが、今のところ実現していない。今年こそ富山の素晴らしい自然環境を、ゆっくりと歩いて楽しみたいと思う。皆さんも、身近なところで無理せず楽しみながらできるスポーツを始めてみてはいかがだろうか。



自然を感じながらトレッキング

今月の 広報クイズ

アメリカの〇〇〇〇〇・ガラス美術館共同企画の展覧会「NEW GLASS NOW」が、富山市ガラス美術館で開催されます。

〇に入る文字は？

答「〇〇〇〇〇」

はがきかEメールで、答と郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号かメールアドレス)と「広報クイズ応募」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ(1人1通)。

広報とやまに対する意見・感想もお待ちしております。

締め切り▶7月15日(金)(必着) [E]kouhou-01@city.toyama.lg.jp

賞品▶500円分の図書カード(抽選で5人)

当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます。

前月の答え 指示

前月の応募総数 278件(正解数275件)



とやま情報局

今月の
放送日

7月31日(日)11:45~

放送局 KNB北日本放送(1ch)

テーマ「行ってみよう!富山競輪」



ライちゃん

迫力あるレースを生観戦するだけでも楽しめる富山競輪場(岩瀬池田町)へ、家族みんなで行ってみませんか。富山県・石川県出身の5人の新人選手や、競輪の魅力を紹介いたします。

市ホームページ(まちづくり・市政)⇒インフォメーション⇒とやま情報局